

本に親しみ食育も推進

市教委、来月から全小学校で活動

明石市教委は7月から、市立全28小学校で本を通じた食育と読書活動の推進に取り組む。市は明石駅前

の再開発ビル内に2016年度に市民図書館(仮称)が開設されるのに合わせ、明石を「本のまち」として計画。

給食の献立に関連した絵本を読み聞かせ、調べ学習のテーマにするなどの活動を各校に働きかける。

7月9日に夏野菜カレーとサラダの給食を提供。それに先立って6月中旬、各校にサラダをテーマにした絵本2冊ずつと、カレーや

サラダ、食にまつわる絵本や図書を紹介する資料を配る。

カレーの種から芽が出て、ライスとカレーの実がなり...という不思議な物語「ひみつのカレーライス」(井上荒野作)、野菜嫌いの妹と、食べさせようと知恵を絞る兄が登場する「ぜったいたたべないからね」(ローレン・チャイルド作)などの絵本を活用する予定。アレルギーのある児

童も同じメニューを食べられるよう対応する。市教委は「この試みをきっかけに、夏休み親子で調理をしたり図書館に行ったりしてもらえたら」と話している。(新聞真理)